

# 病理検査サーベイ実施の手引き

## I.概要と資料の取り扱い

病理検査のサーベイは標本作製：**子宮筋腫の標本作製**を実施します。

[資料]

ホルマリン固定子宮筋腫組織(PBS で保存)、スライド、スライドケース、標本作製手順記入用紙、アンケート用紙を配布します。

## II.サーベイ実施方法及び注意事項

1. 試料受け取り後、まずは一晩程度ホルマリン固定を追加してください。
2. 配布した試料組織はトリミングをせずに、パラフィンブロックを作製、薄切し、切片を配布したスライドに貼付してください。その後 **HE 染色**を行なってください。
3. 包埋カセットは貴施設の包埋カセットを使用してください。
4. 使用するスライドは貴施設で使用しているものでも構いません。ただし、必ず剥離防止コーティングスライドを使用してください。
5. パラフィンブロック作製及び薄切、**HE 染色**は貴施設の日常的な方法で行なってください。ただし切片の厚さは **3-4 $\mu$ m 程度** でお願ひします。薄切後のブロック表面はパラフィンコーティングを行わないでください。
6. 標本は必ず 2 枚作製し、2 枚とも HE 染色を実施してください。より良いと判断した標本で評価します。
7. 標本作製手順記入用紙には貴施設の作製手順を詳細に記入してください。
8. 作製を行ったスライドはケースに入れ、作製ブロック、標本作製手順記入用紙、アンケート用紙を同封されている封筒にて返信してください。

\* スライドは2枚送付します。必ず HE 染色 2 枚を作製してください。

## III.問い合わせ先

病理検査精度管理調査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは施設名、担当者名を明記の上、FAX または E-Mail で下記の担当者までお願いいたします。

岐阜大学医学部附属病院

病理部 片桐恭雄

FAX : 058-230-7244 E-Mail : ykata@gifu-u.ac.jp